



SSH 通信



広島大学附属高等学校

SSH 通信作成委員

2025 年度 第 4 号

2025 年 10 月 24 日発行

皆さんこんにちは。2025 年度の SSH 通信作成委員です。この SSH 通信では、本校の SSH プログラムの 1 年間の活動をお伝えしていきます。第 4 号では、「韓国事前学習（高ⅡAS コース全員・GS コース希望者）」、「第 5 回全国バーチャル課題研究発表会（高ⅡAS コース）」、「研究倫理特別講義（高Ⅱ）」についてお知らせします。

<韓国事前学習：高ⅡAS コース全員・GS コース希望者 7 月 11 日（金）>

講師：朴 大王 先生（広島修道大学商学部 教授）

〔概要〕

・広島修道大学の朴大王先生を講師にお迎えし、サイエンスフェアや海外研修での韓国の高校生との交流に向けて韓国語や韓国の文化についてのお話を聞きました。韓国語については、あいさつ（안녕하세요）やありがとう（감사합니다）などの基本的なフレーズに加え、母音や子音の構成方法について学習しました。韓国の文化については、最近の流行や受験戦争について、さらには韓国料理のことなど、さまざまなことについて日本との違いを含め詳しく教えていただきました。



〔韓国海外研修に向けて〕

- ・韓国の文化・歴史・言葉について、興味深い話をしていただき、韓国について知ることができました。私は 10 月末に韓国に行く予定ですが、この講義で学んだことを活かして、お互いの文化を尊重した交流ができそうと思いました。
- ・韓国は日本と同じアジア圏で関係が深い国ですが、言語だけではなく、文化、歴史、社会制度や考え方など、異なる点が多いことを知りました。韓国を訪れた際は、日本では当たり前のことを当たり前と思わず、互いの違いを尊重して交流を深めたいと思います。

<第 5 回全国バーチャル課題研究発表会：高ⅡAS コース 7 月 18 日（金）>

〔概要〕

この発表会は、研究の初期段階から途中の状況をオンライン上で発表し、生徒同士で助言を合いながら、研究のブラッシュアップを行うことを目的として開催されました。発表会には本校をはじめ、京都府、兵庫県、愛媛県など、地理的に離れた全国の高校から全 44 グループが参加し、11 セッションに分かれて研究の状況を発表しました。また今年度は本校がホスト校であり、本校生徒が各セッションの司会を務めました。

〔学び〕

- ・他校の研究の中には計画段階のものと既に研究が進んでいるものが両方あったため、テーマの着眼点や計画、実験でどういったデータを取ってどのように考察すれば仮説の裏付けになるかといった点で視野が広がりました。
- ・スライドの準備をたくさんしてきた甲斐もあり、スムーズに発表を行うことができ達成感が得られました。また、質問にもグループで協力して対応することができました。他校の発表への質問を考えるのがとても難しかったです。

<研究倫理特別講義：高Ⅱ 9 月 17 日（水）>

テーマ：倫理的な研究をする上での Dos and Don'ts

講師：進矢 正宏 先生（広島大学大学院人間社会科学研究科 准教授）

〔概要〕

この講義では、研究倫理の基本概念として、誠実さを保ち、ねつ造・改ざん・盗用を防ぐことの重要性を説明していただきました。また、著者貢献の考え方や、人を対象とする研究での人権尊重、ヘルシンキ宣言の原則、インフォームド・コンセント（説明と同意）の意義についても解説していただき、高校生が研究を行う際に大切なことを体系的に学ぶことができました。



〔学び〕

- ・今回の講義を受けて、研究倫理全体について、より身近に感じることができました。例えば、研究不正として、ごまかしをせず、すべての結果を発表しなければならないことや、誰がどのように知的に貢献したかをシビアに判定すること、研究対象者にはリスクが利益を上回らないことを確認し、自発的に参加してもらうことなど、具体的な事例を通して学ぶことができました。

第 5 号では、7 月に実施された Science Fair 2025 in Hiroshima について紹介する予定です。